

IBM Planning Analytics
最終更新日: 2015 年 11 月 30 日

新機能ガイド

IBM

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は IBM Planning Analytics に適用されるものであり、後続のリリースにも適用される可能性があります。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Planning Analytics
Last updated: 2015-11-30
New Features Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

Licensed Materials - Property of IBM

© Copyright IBM Corporation 2007, 2015.

目次

はじめに.	v
第 1 章 新しい Planning Analytics Workspace.	1
第 2 章 Cognos Insight 10.3.0 の新機能.	3
第 3 章 Cognos TM1 Performance Modeler バージョン 10.3.0 の新機能.	5
第 4 章 Cognos TM1 Web バージョン 10.3.0 の新機能	7
第 5 章 Cognos Analysis for Microsoft Excel バージョン 10.3 の新機能	9
第 6 章 Cognos TM1 サーバー・バージョン 10.3.0 の新機能.	11
特記事項	13
索引	17

はじめに

このガイドは、IBM® Cognos® TM1® バージョン 10.3.0 の新機能について説明します。

IBM Cognos TM1 は、ビジネス計画、パフォーマンス測定、および運用データを統合します。それにより企業は地理的または構造的状況に関係なく、ビジネスの効果性および顧客との対話を最適化することができます。Cognos TM1 では、データの即時の可視性、協調プロセス内の説明責任、および情報の一貫した表示が可能になります。

情報の検索

Web 上でドキュメント (各言語版のすべてのドキュメントを含む) を入手するには、IBM Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter>) にアクセスしてください。

サンプルに関する特記事項

Sample Outdoors 社、Great Outdoors 社、GO 販売、Sample Outdoors または Great Outdoors の名前のすべてのバリエーション、および Planning サンプルでは、IBM および IBM のお客様向けのサンプル・アプリケーションを開発するために使用されるサンプル・データにより、架空の企業活動が描出されています。これらの架空データには、販売取引、商品流通、財務、および人事のサンプル・データが含まれます。実際の名前、住所、電話番号、または取引額との類似は偶発的なものです。また、サンプル・ファイルの中には、手動またはコンピューターで生成された架空のデータ、学術的ソースまたは公共のソースを基に編集された実際のデータ、著作権所有者の許可を得て使われているデータなどが、サンプル・アプリケーションを開発するためのサンプル・データとして使用されている場合もあります。参照される製品名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。無断の複写は禁止されています。

ユーザー補助機能

ユーザー補助機能は、動作が制限されている方、または視力の限られた方など、身体の不自由な方に情報技術製品をご使用いただけるように支援します。IBM Cognos TM1 は、一部の構成要素でユーザー補助機能をサポートしていません。IBM Cognos TM1 Performance Modeler、IBM Cognos Insight、および Cognos TM1 操作コンソールはユーザー補助機能に対応しています。

将来予想に関する記述

このマニュアルでは、本製品の現在の機能について説明しています。一部の内容で、現在利用できない項目について言及している可能性があります。これは、将来利用できるようになることを意味するものではありません。そのような内容は、資料、コード、または機能の提供に向けた取り組み、確約、あるいは法律上の義務を意味するものではありません。機能の開発、リリース、時期や機能性は IBM の独自の決定によるものとします。

第 1 章 新しい Planning Analytics Workspace

IBM Planning Analytics Workspace は、クラウド環境用に設計された新しい Web ベースのインターフェースです。これにより、データを分析したり、計画したり、作成するコンテンツにアクセスしたりする新しい方法が提供されます。

Planning Analytics Workspace によって、お客様のビジネスで最も重要な事柄に重点的に取り組むことができます。Planning Analytics Workspace を使用することによって、データにおけるパターンや関係を識別し、理解することができます。この情報を利用して、事象が生起する理由を理解したり、起こるかもしれない事柄を把握したりできます。Planning Analytics Workspace はすべてのビジネス・ユーザーに高度な分析の世界を開きます。

複数のサーバーからのデータを、単一の Planning Analytics Workspace のブックに統合できます。複数の Web シートを取り込み、同じシートに表示することができます。

Planning Analytics Workspace で注目に値するのは、以下の機能です。

以下を実行できます。

- 分析に関するビューや視覚化を素早く作成し、それらを同僚と共有できます。また、表示する権限を持つ内容のみを表示できるように制限することもできます。
- 既存のビューをブックに取り込み、新しいビュー、視覚化、Web シートを並べて表示することができます。
- イメージ、テキスト、カラー、Web ページ、ビデオを取り込んで、ブックに人を引き付けるデザインを作り出すことができます。ビュー、視覚化、Web シートを同期することもできます。ディメンション・セレクターでは、デフォルトで同期が有効にされています。
- 目的のバーに自然言語を入力することによってデータを検索できます。
- 後で簡単に取り出すことができるようにビューや視覚化を保存できます。また、ナビゲーション・ツリーのキューブやディメンションなどのアイテムにブックマークを付けることもできます。
- スナップ・コマンドを実行できます。
- ボタンを使用して、操作を元に戻したり、やり直したりできます。

詳細については、IBM Planning Analytics Workspace のガイドを参照してください。

第 2 章 Cognos Insight 10.3.0 の新機能

IBM Cognos Insight バージョン 10.3.0 には新機能があります。

これらの機能について詳しくは、「*IBM Cognos Insight ユーザー・ガイド*」を参照してください。

クロス集計セルでの改行のサポート

Alt+Enter キーのキーボード・ショートカットを使用して、クロス集計内でセルに改行を追加できるようになりました。

履歴グラフ・スコアカード・ウィジェット

IBM Cognos Insight ワークスペースに履歴グラフ・スコアカード・ウィジェットを追加できるようになりました。履歴グラフには、評価指標の実績データを示す縦棒グラフが、目標を表す線と許容範囲インディケーターと共に表示されます。

新しい数値データ選択リスト・オプション

数値データのフォーマットを設定するときに、ユーザーが選択できる値のリストを定義できるようになりました。

データ・フロー・ダイアグラム

IBM Cognos Insight ワークスペースにデータ・フロー・ダイアグラムを追加することで、データを参照したりキューブ間でデータを移動したりするリンクやプロセスをビジュアル表示できるようになりました。

モデル・レポート

モデルに含まれる各オブジェクトのプロパティを内容とするレポートを作成できます。

コンテンツ・ウィンドウ内のミラーリング

コンテンツ・ウィンドウでミラーリングを有効にして双方向言語をサポートできるようになりました。

第 3 章 Cognos TM1 Performance Modeler バージョン 10.3.0 の新機能

IBM Cognos TM1 Performance Modeler バージョン 10.3.0 の新機能を以下に記載します。

これらの機能について詳しくは、「*IBM Cognos TM1 Performance Modeler ユーザー・ガイド*」を参照してください。

データ配分のオプションをコンテキスト・メニューから利用できる

TM1 Performance Modeler では、データ配分のオプションをコンテキスト・メニューから利用できます。データ配分を開始するセルを右クリックし、「データの配分」をクリックします。または、集約セルで値を入力します。

派生評価指標の作成

派生評価指標は、重要業績評価指標、または評価指標ディメンションの尺度に基づいた評価指標です。派生評価指標の例として、従業員の調査結果に基づく従業員満足度、従業員の離職率、雇用のコスト、さらには、製品調査、返品数、顧客数などに基づくお客様の満足度などがあります。

派生評価指標は、評価指標ディメンションで階層を作成することによって定義します。親の評価指標は派生評価指標であり、その子の評価指標から計算されます。

スコアカード・キューブで履歴グラフを利用できる

履歴グラフには、評価指標のデータを示す縦棒グラフが表示されます。デフォルトでは、各期間の実績値と目標値を比較して、結果が許容範囲内にあるかどうかを示します。フォーカス・バーをスライドすることで、期間が表示される範囲を変更して、詳細レベルを増やしたり減らしたりすることができます。

履歴グラフは、スコアカード・キューブに対して自動的に作成されます。

第 4 章 Cognos TM1 Web バージョン 10.3.0 の新機能

IBM Cognos TM1 Web バージョン 10.3.0 の新機能を以下に記載します。

これらの機能について詳しくは、「*IBM Cognos TM1 ユーザー・ガイド*」を参照してください。

詳細な条件付き書式

TM1 Web が、カラー・スケールとアイコン・セットの条件付き書式をサポートするようになりました。

日付ピッカーを使用した日付の選択

日付ピッカーから日付を選択できるようになりました。セルには日付の形式が設定されている必要があります。

Microsoft ActiveX コントロールのサポート

Web シートで Microsoft Excel ActiveX コントロールのサポートが追加されました。追加されたコントロールは、チェック・ボックス、コンボ・ボックス、リスト・ボックス、ラジオ・ボタン、テキスト・ボックス、およびラベルです。

エクスポートの向上

Web シートを Excel と PDF にエクスポートする場合、出力が以前のバージョンより Web シートのビジュアル表示にマッチするようになりました。

新しい Web シートのグリッドによるパフォーマンスの向上

TM1 Web の新しい Web シートのグリッドの実装によって、スクロールのパフォーマンスが向上し、さらに Web シートの読み込みのしきい値とスクロールのバッファを構成する必要もなくなりました。新しい Web シートのグリッドはデフォルトで有効になっており、すべてのユーザーに対して推奨されますが、`tmlweb_config.xml` の `LegacyWebsheetGrid` パラメーターを使用して構成することも可能です。

X-Frame-Options 応答ヘッダーを使用したクリック・ジャック攻撃に対する保護

TM1Web のすべての .jsp ファイルに応答ヘッダー `X-Frame-Options` が含まれるようになり、不正な URL による TM1 Web コンテンツのレンダリングを回避するために使用できます。この応答ヘッダーの値は、`tmlweb_config.xml` の `X-Frame-Options` パラメーターを使用して設定されます。この構成パラメーターに関する詳細は、「*IBM Cognos TM1 インストールおよび設定ガイド*」を参照してください。

第 5 章 Cognos Analysis for Microsoft Excel バージョン 10.3 の新機能

IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel 10.3 は、以下のいくつかの主要な領域で機能拡張されています。

操作ボタン

操作ボタンを使用して、TurboIntegrator プロセスを実行したり、ワークシート間をナビゲートしたり、ワークシートを再計算したりできます。

TM1 サーバーへのワークブックの発行

TM1 レポートが含まれるワークブックを TM1 サーバーの Applications フォルダに発行できるようになりました。ワークブックを発行すると、それを TM1 Web のユーザー、IBM Planning Analytics Workspace のユーザー、およびその他の IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel のユーザーと共有することができます。リスト、クロス集計、フレックス・ビュー、および数式ベースのレポートを発行できます。

フレックス・ビューでのダブルクリック・アクションの指定

フレックス・ビューで作業するときのダブルクリック・アクションを指定できるようになりました。

フレックス・ビューでのデータのコミット

フレックス・ビューでデータをコミットすると、より多くのオプションを選択できるようになりました。「変更のコミット」ダイアログ・ボックスでは、事前検証せずに、変更されたセルのみを検証およびコミットするか、すべてのセルをコミットするかを選択できます。アップロード中にエラーが発生した場合は、エラー・レポートが表示されます。レポートには、エラーの場所とエラーの説明が示されます。

DBR 関数エディター

新しい DBR 関数エディターを使用して、DBR 関数または DBRW 関数で参照されるメンバーを変更できるようになりました。メンバー名を直接入力したり、セル参照を使用したり、サブセット・エディターでメンバーを選択したりして、メンバーを指定できます。

ワークシートのコピーと移動

閲覧ビュー、フレックス・ビュー、式ベースのレポートなどの IBM Cognos レポートが入っているワークシートの移動やコピーを行うことができます。ワークシートのコピーと移動は、ワークブック内、またはワークブック間で実行できます。

注：フレックス・ビューを移動またはコピーするには、IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel を実行している必要があります。

シングル・サインオン

「シングル・サインオンの有効化」機能はデフォルトで有効となるようになりました。シングル・サインオンを使用すると、IBM Cognos Controller、IBM Cognos Disclosure Management、または IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel にログオンしているユーザーが、これらのアプリケーションをもう 1 つ開始したときに、認証を再度求められることがなくなります。この機能を使用するには、IBM Cognos サーバーでシングル・サインオンを有効にしておく必要があります。

API 関数

アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) が拡張され、新しい関数が追加されました。

- `GetSettings` 関数を使用して、`CognosOfficeReportingSettings.xml` ファイルに設定の取得、設定、および保存を行うことができます。

第 6 章 Cognos TM1 サーバー・バージョン 10.3.0 の新機能

IBM Cognos TM1 サーバー・バージョン 10.3.0 の新機能を以下に記載します。

規則の統計情報の収集

新しいコントロール・キューブの }StatsByRule が、TM1 サーバーの規則に関する情報と統計情報を収集します。統計収集は、}CubeProperties コントロール・キューブの新しい RULE_STATS プロパティによって有効になります。詳しくは、「*IBM Cognos TM1 開発者ガイド*」の規則の統計情報のモニタリング、または「*IBM Cognos TM1 Rules Guide*」を参照してください。

UseExcelSerialDate Tm1s.cfg パラメーター

Tm1s.cfg で UseExcelSerialDate サーバーの構成パラメーターが有効になっている場合、TM1 規則関数と TurboIntegrator 関数は、Microsoft Excel のシリアル日付ではなく、TM1 のシリアル日付を使用します。

TM1 サーバーの構成パラメーターの変更

バージョン 10.3 では、Tm1s.cfg パラメーターが変更されました。詳細については、IBM Cognos TM1 の TM1 サーバー構成パラメーターへの変更 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047055>) を参照してください。

特記事項

本書は IBM が世界各国で提供する製品およびサービスについて作成したものです。

この記述は、IBM から他の言語で提供されている場合があります。ただし、これ入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。本書には、お客様が購入されたプログラムまたはライセンス資格に含まれない製品、サービス、または機能に関する説明が含まれる場合があります。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Software Group
Attention: Licensing
3755 Riverside Dr.
Ottawa, ON
K1V 1B7
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

この「ソフトウェア・オフファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[サ行]

新機能 9